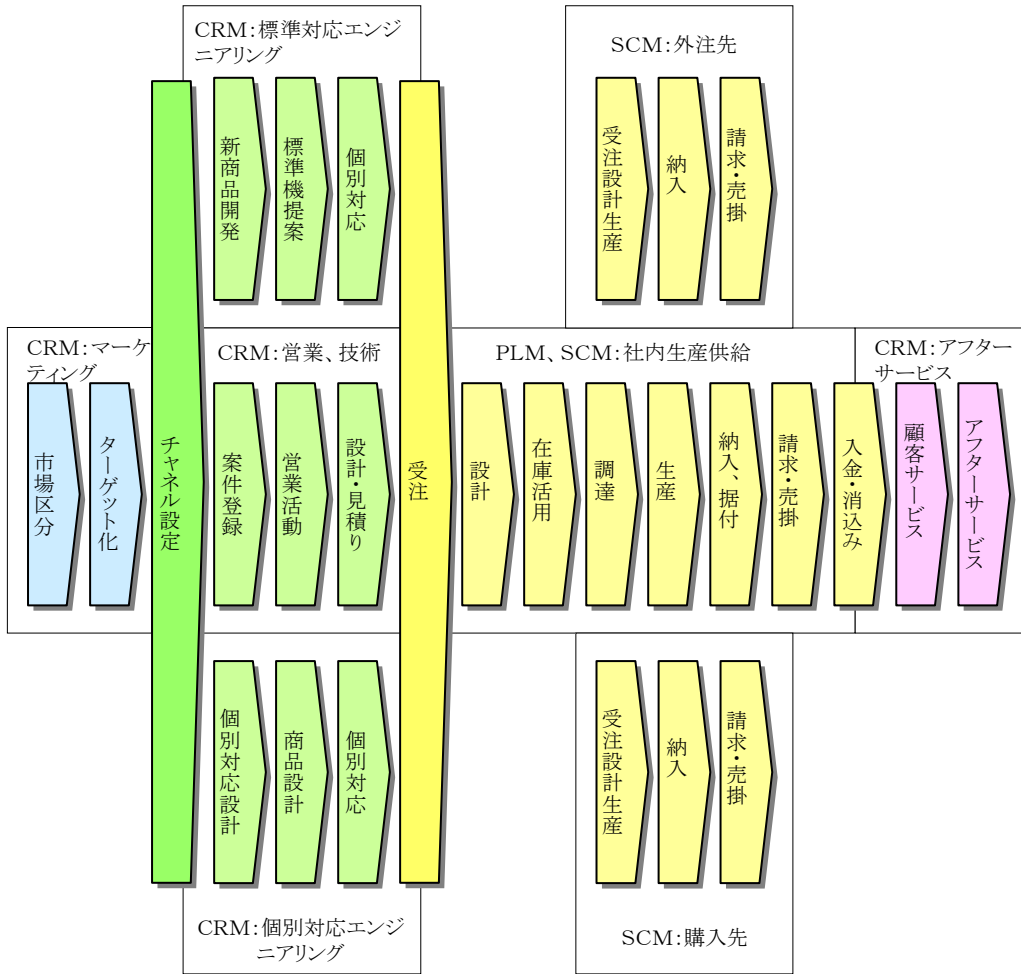
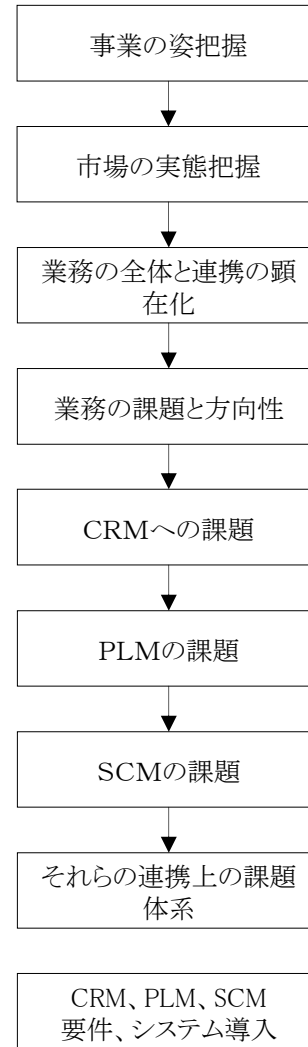


CRM、PLM、SCMの相乗効果へ



展開ステップ



4.3 CRM、PLM、SCM等の位置付けと活用

CRM、PLM、SCMはそれぞれの単独の検討でも効果は上りますが、それらの連携を考えるとさらに効果が大きくなるはず。事業内でのサプライチェーン的な連携を図ることであるとも言えます。

マーケットイン、プロダクトアウトと完全に分けて考えるのではなく、市場と企業は相互に関連し、連携し、情報のサイクルが回っています。したがって業務の連携、情報の連携は不可欠であり、それらを区切って考えることの方がおかしいとも言えます。

図は標準品ビジネスから個別受注設計ビジネスまでの全体を現したもので、それらの業務の連携を示したものです。これらの実態を明らかにした上で、業務の理想の姿と情報の連携の面から現状の課題と情報システム等に求める要件を明らかにして、情報システムの姿を検討することが望ましいと考えます。